

臨床検査専門科目	生物化学分析検査学					
		1単位	演習	平成30年度	前期	3年次
臨床検査学科	必修					
科目名	放射性同位元素検査学 Nuclear Medicine					
担当教員	御前隆					
目的	放射性同位元素の基本的性質を学び、これを使用した検体検査法ならびに生体検査法について学ぶ。					
目標	放射性同位元素についての物理学的な背景知識を導入したのち、測定機器・放射性医薬品・各種核医学検査の実束手技ならびに解析法について講義する。被曝管理について、放射線生物学および関連法規の概略と、安全取り扱い法の原則を述べる。実地診療で核医学検査がどのように役にたっているかについても実例を交えつつ紹介する。					
他科目との関連						
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				
	レポート					
	記録等					
	その他					
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	臨床検査学講座：「放射性同位元素検査技術学」（藤井張生他 著者）医歯薬出版株式会社					
参考資料	日本核医学技術学会編「最新核医学検査技術」メディカルトリビューン社 利波紀久編「核医学イメージングハンドブック」株式会社ミクス 放射線取扱者教育研究会編纂「放射性同位元素等取扱者必携」オーム社					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	①放射性同位元素の基本的性質について理解すること ②他の画像診断法（超音波断層、X線CT、MRIなど）との相違点を知ること					